

## 2023 年度 第 1 回 CTK 放送番組審議会 議事録

2023 年 6 月 29 日

14 : 00～15 : 45

ケーブルテレビ可児 会議室

### 【出席委員】

委員長	海道 清信	(名城大学名誉教授)
委員	今井 悠一郎	(可児青年会議所 直前理事長)
	大脇 慶二	(株式会社サカエ屋 代表取締役)
	細野 裕子	(中山道案内人倶楽部 前会長)
	水野 芙由子	(可児市市政企画部広報情報課広報統計係長)

(敬称略、五十音順)

### 【当社事務局】

	谷口 公一	(代表取締役社長)
	石川 浩紀	(取締役兼 ICT ソリューション部長)
	長尾 武彦	(メディアサービス部長)
	岸野 直美	(メディアサービス部メディアグループ長)
	梅田 大輝	(メディアサービス部メディアグループ) (記録係)

## 1. 挨拶

**谷口社長** : お世話になります。日頃はケーブルテレビ可児に対して、ご理解ご支援をいただきましてありがとうございます。また今日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。今回は、3月22日に開催させていただきました。今回から、一部メンバーが変わり新しい方もいますが、引き続きこの1年よろしくお願ひします。前回以降、何をしたかと言いますと、4月から岐阜県のケーブルテレビ局が共同で2つの番組を立ち上げました。その2つを今回、ご紹介させていただきます。それから去年からやっています「地域・人の wa プロジェクト」もいろいろと企画を進めていますので、興味を持って見ていただけたらと思います。6月にありました、可児シティマラソンにもCTKの社員が走らせていただきまして、涙のゴールを見させていただきました。また来月からは高校野球が始まるということで、メディア部は忙しく働いています。ぜひ、応援していただければと思います。話が変わりますがケーブルテレビ可児は、今年12月におかげ様で開

局 30 周年を迎えます。記念のグッズを作りましたので、お持ち帰りいただければと思います。本日は、5 本も見ていただいたということで時間もないようですので早速、本題に入らせていただければと思います。よろしくお願いします。

## 2. 委嘱状交付(水野委員)

**事務局:** 可児市から 1 人委員をお願いしておりますけど人事異動がございまして、委員の交代をしていただきました。今年度、委員を務めていただくのは、可児市市政企画部広報情報課の広報を担当している係長、水野様をお願いをすることになりましたので、ご紹介させていただきます。水野様、自己紹介をお願いします。

**委員:** 今回、初めて番組審議会に出席させていただきます。可児市の市政企画部広報情報課の水野と申します。今日は皆様のご意見をお聞きできるということで、市政番組にもご意見を参考にさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**事務局:** 委嘱状につきましては、机の上に置かせていただいておりますのでよろしくお願いいたします。それでは議事に移らせていただきます。

## 3. 議事

### (1) 番組基準の改定について

**委員長:** 今日は、通常の番組のご意見・ご感想の前に番組基準の改定というものがございまして。事前に事務局からお聞きしたのですが、番組審議会の意見を聞いて改定するというものですので、皆様から意見を出していただいてそれを基に必要があれば修正をしていただくことになると思います。どういう番組を制作するかの根幹になると思いますので、皆様よろしくお願いいたします。それでは事務局からご説明いただけてそれを元に議論をしたいと思っております。

**事務局:** 今、委員長からもお話しがありましたようにケーブルテレビ可児がどんなことを守って、どんなことを注意して制作するかということを定めました「番組基準」というものがございまして。これは放送法などにも規定されていまして、これを公開して番組制作にあたらなければいけないということが決まっております。私どもの基準は、平成 27 年に改訂したのが最後でございまして、それを一部改訂したいということで今回、お諮りするものです。私どもは、全て独自で定めたものではなく

て、日本ケーブルテレビ連盟という業界団体がございまして、そこが作った「放送基準」というものがございます。各社それに準じて定めております。日本ケーブルテレビ連盟は、今年3月15日付で放送基準の一部改訂を行いました。それに合わせて私どもも同一内容の改定をさせていただきたいということです。お配りした資料の「改定の目的」というところに、人権意識の一層の高まりや価値観の多様化に対応するためとございます。全部で100条以上の条文がありますが、その内の37条文について部分的な改定を盛り込んでおります。これを全部ご説明させていただきますとかなり時間を要しますので具体的な説明は、省略させていただきたいと思います。

**委員長：**それでは、お一人ずつご意見をいただければと思います。順番をお願いします。

**委員：**問題ないかと思えます。

**委員：**8章(3)について、現在は「方言」という言葉が入っていますが、改定後の「言葉を尊重し」というのが、言葉だけで分かるのか。我々は年齢的に「言葉」というより「方言」と言われた方が分かりやすい。「言葉(方言)を尊重し」にした方がより丁寧だと思います。

**委員長：**地域の言葉ということだから「方言」ということですね。

**委員：**理解はできるんですけど、分かりづらいと思えます。

**谷口社長：**「地域の文化、風習や言葉を尊重し」でもいいかもしれませんね。

**委員：**「方言」という言葉を使うといけないですか？

**事務局：**そういうわけではないです。

**委員長：**可児市と御嵩町は、「方言」が違いますか？

**委員：**家族の中の言葉と隣の家では違います。例えば、うちの母は、多治見出身ですので東濃弁が入ってきます。

**委員長：**多治見と可児は違うんですか？

**委員**：若干違います。何かと言われるとよく分かりませんが。

**委員長**：また事務局でこの文章を検討していただければと思います。ありがとうございます。

**委員**：問題はないかと思いますが、この多種多様化の時代で言葉一つ選ばれるのも労力なされたと思います。委員さんのお話で確かにとおもいましたが、ほぼ問題ないと思います。

**委員**：時代にあった表現に変えられておりますので問題ないかと思いますが。

**委員長**：差別に関することが丁寧に書いてあるのと、性の問題について誤解がないように書かれていると思います。私は問題ないかと思いますが。では、「言葉」というのをこのままでいいのか、言い換えるのか検討していただくということで、その他については異論ないということで進めていただければと思います。

**事務局**：また社内で検討させていただいて、新しく決まったものはCTKのHPで公開させていただき予定としておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

**委員長**：それでは、議事の2番目「視聴番組についてご意見・ご感想」に移らせていただきます。今日は、5本ございます。事前に見ていただいていると思いますので、冒頭部分だけ見ていただいて思い出していただければと思います。それではに進行をお願いします。

## (2) 視聴番組についてご意見・ご感想

- ①「岐阜県 道の駅めぐり」(可児ッテ)
- ②「ぎふトピ」
- ③「地域・人のwaプロジェクト ひらりのツナガレストラン」
- ④「ハーフマラソンへの道」～出場選手、コース紹介～
- ⑤特別番組「可児市・御嵩町 中学校卒業式スペシャル2023」

### ①「岐阜県 道の駅めぐり」(可児ッテ)

**事務局**：4月から岐阜県内のケーブルテレビ局が共同でリレー方式で制作しております。5月がCTK制作になりますのでそちらを見ていただきたいと思います。

<視聴ご意見>

**委員長：**皆さんのご意見やご感想について聞かせていただければと思います。最初に思ったのが、ナレーション「何これ？」っていう。もう少し普通にやればいいのに。

**事務局：**それについてお答えさせていただきますと、全体を仕切っている岐阜市にあるCCNにオープニングなどを制作していただいたので、局の誰かがナレーションをしたと思います。それを共通で使うというのがどの局も基本となっていますので、違和感がある人もいらっしゃるけど、この番組のルールとなっておりますのでご理解いただければと思います。

**委員長：**ということは今後、何年かはこのナレーション？

**谷口社長：**2年半くらいかな？

**事務局：**はい。

**委員長：**いいという人もいると思いますが、私は普通にやっていただければと思います。プレゼントの応募は何人くらいありましたか？

**事務局：**198人です。放送は#6まで進んでいますが、今のところ最多です。ただ198人というのは、ケーブルテレビ可児だけではなく、放送している9局全ての数字です。私どもが制作した回については、ケーブルテレビ可児に応募がくるのでその合計です。

**委員：**景品に魅力があったんでしょうね。

**委員長：**何がありましたっけ？

**事務局：**「おとなガチャ」と「ジェラート」です。

**委員長：**ジェラートは行かないと食べられないでしょ？地元の人はいいいけど、岐阜市の人…それも狙いか。でもたくさん応募があっただけです。

**委員：**番組を撮影するにあたって、一回だけの撮影ですか？

**事務局**：はい。

**委員**：駅長さんのお話があって、商品を撮るみたいなの。もしよかったら、人がいっぱいいて、お客さんがたくさんいますよ。というのが分かる映像があるとより「可児ッテ」のPRになると思います。

**委員長**：道の駅の人から人が少ない時間に来てくださいというのがあったかも知れませんがね。

**事務局**：それだけ別に撮影に行くことはできたかも知れません。

**委員**：可児ッテという名称がどうしてこのようになったかが分かりました。可児ッテの思いも分かりましたし、個人的には、地元の東濃実業高校が開発した「サヨリ飯」の商品を紹介していただけでうれしく思いました。

**委員長**：サヨリ飯って何ですか？

**委員**：この地元の伝統食で日本五大名飯の一つにも選ばれています。サヨリという魚もいるんですが細長い魚ということでサンマが使われています。

**事務局**：サンマの炊き込みご飯です。昔なのでよく分からないからサンマもサヨリも同じような細長い魚ということだったらしいです。

**谷口社長**：メニューにしているお店は今、ないですよ。

**委員長**：最後に地図があったかと思いますが、もう少し大きく出してもらって、地元の人には知っているからいいかもしれませんが、もう少し丁寧に紹介してもいいかと思いました。

**事務局**：欠席の委員からご意見をいただきまして、「岐阜県内9局で共同制作をしたというのがよく分かる番組になっていた」「駐車場の台数や近くの観光スポットなども分かりやすく表記されていてよかった」「今回は、ケーブルテレビ可児の制作した番組だったが他の局がどのように作ったのか見比べたい」「道の駅めぐりをしてみたいと思える番組だった」というご意見を頂きました。以上です。

## ②「ぎふトピ」

**事務局**：月に1回、自局で放送したニュースを持ち寄って県内で1カ月どういったことがあったというのをお伝えする番組です。

〈視聴ご意見〉

**委員長**：何か気が付いたことや感想がありましたらお願いします。

**委員**：いつも思うんですけど、音が寂しいんです。他局は現場の音が入っているんですけど、CTKはこいのぼりのため、音は入れられないと思いますが、インタビューがあってもいいと思いました。

**事務局**：私共が実際に、取材へ行っていれば、会社に思いを聞いたり、こいのぼりを見ている地域の人にインタビューをしたりしたかもしれないが、今回の映像は外部のカメラマンにお願いをして撮影をしていただいて編集をしました。実際に依頼をする際に、インタビューもお願いをすればよかったとは思いますが。あと、原稿の作成も電話で話を聞いただけだったので、社員が現場に行き取材をすればより丁寧に放送ができたと思います。

**委員長**：4月「お祭り」、5月「お祭り」、6月「こいのぼり」とやっぱりどうしても行事的なものになりますか。

**事務局**：それもまたいろいろで、各社が試行錯誤しているのですが、傾向としては地域色豊かなものを放送している感じですが。今は様子を見ながら、他の地域には無さそうなものを選んで放送しています。

**委員長**：県内の人に見てもらえる番組ですので、地域の特徴や地域の伝統、頑張っている人を紹介できる番組になればいいと思います。9局が持ち寄るということですけど、お祭りばかりにならないようになど調整はするのでしょうか？

**事務局**：情報を共有するネット上のスペースがありまして、そこで何を出すか報告をしたり、月に1回、会議で情報交換会をしたりしていますので、その場である程度の調整はしています。

**委員長：**他局が制作したニュースなどを見るというのは、レベルアップにも繋がるのでいいと思います。

**事務局：**我々も見ると各局で作りが違ったり、ナレーションが上手だったり、下手だったり、結構違いがあるので勉強になります。

**委員：**視点が違うかと思いますが、私は、可児薬師祭礼の保存会に所属しています。今回、他の局でお祭りの話題が2つありましたが、その中で、子どもの練習風景があり、薬師祭礼を残していくためにこういうやり方があるのかと勉強になりました。

**事務局：**欠席の委員のご意見も紹介します。「エリアが変わるときに地図が出てくるところがよかった」「地域密着で、地上波の番組と比べると見違えるほど、いい番組だと思いました」「各局の作り方の違いなどを感じることができてよかった」あとは、「局によって男性アナウンサーがナレーションをしていたが、聞きづらかった」「ケーブルテレビ可児のアナウンサーが聞き取りやすかった」というご意見をいただいています。また、「どうしても1カ月遅れになってしまうのもっとオンタイムで放送できるといい」という意見も頂戴しています。今の話題が古くなってしまうというのは、社内でもそういう話があります。

**委員長：**NHKで13時から地方のニュースをそのまま放送していますよね。そのやり方だとリアルタイムでできそうな気がしますけど。

**事務局：**ただ悲しいことに、ネットワークの環境が整っていないので、各局生配信できる体制がありません。高校野球の時は、臨時にそういったシステムを組んでやりますが、常に配信できるシステムは今のところありません。ですのである程度の時間がかかっています。

**委員長：**これからですね。頑張ってください。

### ③「地域・人のwaプロジェクト ひらりのツナガレストラン」

**事務局：**以前も見ていただいた「じゅんじゅんの収穫レストラン」というものがありました。が、代替わりしてCTKの社員、丹羽ひらりになりました。



<視聴ご意見>

**委員長：**普通のレストランの紹介とは違ったので良かったです。新しい視点でそういうレストランがあるということを知りました。美味しそうに紹介もされていました。地元の方、ここは有名なんですか？

**委員：**私は、孫3人をここで育てました。テレビでやっていたのを見て懐かしさを感じて小学校1年生の孫を連れて午後2時ごろにいったら、以前はやっていたのですが、コロナになってから午前中しかやってなくて残念でした。

**委員長：**ひらりさん、いかにも美味しそうに食べている。食レポにはいいと思います。

**委員：**どこに住んでいる人でも行けるんですか。

**委員：**はい。おじいちゃん、おばあちゃんが散歩のついでに寄ったりしています。

**委員：**ここは、家庭菜園などで作った野菜も持ち込んだら受け取ってくれますか。

**委員：**喜ばれると思います。

**委員長：**欠席の委員から何かありますか。

**事務局：**「食を軸とした地域や子育て世帯などに有益な情報番組だと感じました」や「こういった取り組みが御嵩だけでなく可児市や岐阜県に広がっていけばいいと感じました」それから「利用時間のインフォメーションがあるといい」という意見を頂戴しています。

#### ④「ハーフマラソンへの道」～出場選手、コース紹介～

**事務局：**こちらは2本ありますので続けて見ていただきたいです。

<視聴ご意見>

**委員長：**可児は田舎だと思った。コースの周りが田んぼばかりに見えた。

**委員：**(マラソン大会は、道路の)混雑を避けるために朝6時ごろ走りました。

**委員長**：こんなところ(観光名所でもない田んぼ道など)を何で走るんだろうと思って。

**委員**：交通規制の問題がありますので。

**谷口社長**：警備とか、いろいろとお金がかかるそうです。

**委員長**：可児の名所を巡るようなコースだったらコース紹介の動画を作ってもいいけど、走らない人からすると逆効果のように感じます。このコースでも見せたいところだけを紹介してもいいと思います。そして、井澤さんが先ほど完走したと聞きましたが何分でしたか？

**谷口社長**：2時間17分くらいだったと思います。

**委員**：ハーフマラソンで2時間。私も高校の時にやりましたが、ハーフで2時間切る人はそんなにいないです。高校生でも2時間を目安に戻って来いと言われても難しいと思います。すごいですね。

**委員**：コース紹介で最初の歩いているところは、映像がぶれるのでそこは工夫があってもよかったです。

**委員**：女性選手の紹介動画は、カメラをかついで追いかけているのですか？

**事務局**：スマートフォンくらいの大きさのカメラを持って並走しました。それは手振れなども補正されるカメラです。

**委員**：井澤さんのコーチをされた東濃実業高校の陸上部には、どのようにアポを取られましたか？

**事務局**：高校や大学の活動を紹介する番組の担当者が、教頭先生にお願いをした後、担当の先生とスケジュールの調整などをしました。

**委員**：普段から「学校ガチ訪問」などの取材をされていますもんね。また東実の生徒の活躍が見られてうれしかったです。

**委員長**：生徒もいいアドバイスをしていましたね。女性選手の紹介もガン克服した71歳って、健康番組の宣伝かと思いました。

**事務局**：社内でもまったく同じ意見がありました。

**委員長**：でもこれは反対だから。健康食品を飲まなくても健康で生きられることが分かりました。テレビ見ていると世の中、病人ばかりで飲まない大変になると思うけど、こういうのはいいと思います。

**委員**：生きる力になりましたよね。

**谷口社長**：どうやって探してきたの。

**事務局**：いろいろと人づてをあたってお願いをしました。

**谷口社長**：知る人ぞ知るっていう人なんだ。

**事務局**：欠席の委員からは、「地域密着ならではの出場選手の紹介でよかった」、「効果音や文字の出し方が以前と比べて良くなっていた」というお褒めの言葉をいただきました。コース紹介は、「選手目線になった気分で走った気持ちになって楽しかった」、「地図があって分かりやすかった」、「解説の人がワイプになっていて斬新な感じがした」というようなご意見を頂戴しています。

#### ⑤特別番組「可児市・御嵩町 中学校卒業式スペシャル 2023」

<視聴ご意見>

**事務局**：毎年、やっている番組で、3月に放送した番組になります。可児・御嵩の全中学校を撮影しましたが、皆さんには抜粋した映像を見ていただきました。

**委員長**：東可児中は101人で、上之郷中は10人と対照的だと思いました。

**委員**：上之郷中は、御嵩町でも小規模校です。私も「わが孫はどこや」って中部中の映像を見て探しました。コロナ禍で出席できる保護者が1名とかそういった中では、非常にありがたい番組だと思いました。

**委員長**：確かに見るのは、自分の孫だけですもんね。

**委員**：上之郷は、少人数なんで非常によく映っていました。来賓の人の方が多いくらいですね。

**委員長**：生徒が蛍の光で泣くかと思ったら、先生が泣いていていい先生だと思いました。

**委員**：すごくいいですね。上之郷中学校の卒業式は、明るくて。

**委員長**：東可児中学校の卒業式は、真面目で優等生のような感じがしました。特徴がそれぞれ出ていていいと思いました。9校それぞれ撮影して、それぞれ10分にして90分の番組を作って放送しているんですか。同じ日ですね。どうやって撮影をしたのか気になりました。

**事務局**：弊社のスタッフと外部のカメラマンに助けをもらいながら撮影しました。帝京大学可児高校だけは別の日にありましたが。各学校、卒業証書授与や合唱などある程度内容はそろえて放送をしていますが、それでも特徴は出てきます。

**委員長**：では、欠席された委員の意見をお願いします。

**事務局**：一つ私たちもそうだなと思いましたが、中学校の卒業式の映像がここにあるので「この子たちが成人式をする時に、この映像を放送するといいんじゃないか」というご意見をいただきました。それから、「卒業証書授与の際に、生徒の名前を読み上げてから生徒がでてくるのでよかった」というご感想を頂戴しています。

### (3)CTK11ch・12ch の番組全般についてのご意見・ご感想

**委員長**：他の番組などについて、何か意見や感想はありますか。

**委員**：全体的に学校や市民ボランティアの取り組みを放送するのは大変喜ばれると思いますし、市民との繋がりになると思いました。今後も地域の人の生き生きとした様子を放送してほしいと思います。番組アンケートなど視聴者の視聴頻度などが分かれば今後の行政番組の参考にさせていただきたいと思います。また課長が見た感想ですが、「ドローンを使うともっと迫力が出るのでは」ということでした。

**委員長**：ドローンは、局にあるのですか。

**事務局**：弊社は自社では持っていません。番組では、以前見ていただいた、「そらさんぽ」という番組の撮影を御嵩町の会社をお願いしています。

**委員長**：可児市は持っていますか。

**委員**：個別では持っていません。業者に撮影を頼むことはあります。

**委員長**：これからは災害時などの情報収集でも大切だと思います。

#### 4. 報告事項

**事務局**：前回3月に開催して以降、本日までの間に総務省に報告が必要となる放送事故はありませんでした。

**委員長**：以上、私のほうからは特にありません。後、事務局から報告事項があればお願いします。

**事務局**：ありがとうございました。ご連絡だけさせていただきます。お手元に「CTKの自主放送番組」という資料をお配りしました。時間の関係上、紹介は省略させていただきます。これが、今年度私たちが12ch・11chで放送している番組です。「NEW」となっているのが新しい番組です。お時間がある時に、是非、番組をご視聴ください。最後に高校野球の放送について担当からご報告させていただきます。

**事務局**：ケーブルテレビ可児は、KYB スタジアムで行われる5日間12試合を生中継、また他球場で行われる試合の一部を生放送・録画放送します。トーナメントの勝ち進みによって放送は決まりますが、可児市や御嵩町の高校、また加茂地区の高校、他にも多治見市や各務原市の一部の高校、合計16校の試合を放送します。

**委員長**：本日は、ご協力いただきありがとうございました。それでは終わらせていただきます。

以上